

大阪樟蔭女子大学(大阪府東大阪市)は学芸、児童、健康栄養の3学部7学科を備える。昨年、被服学科を改称し、4年制大学では初めて「化粧ファッション」を学科名に取り入れた。運営母体の樟蔭学園は創立100周年を迎え、2030年までの大学のグランドデザインを描くスローガン「美 Beauty full」を打ち出した。目指すべき女子教育について北尾悟学長に聞いた。

大学の
女子力

——貴学の学生の特長は「伸びしろが大きいのが一番の特長だ。背中を押せばみんな、見違えるように飛躍する。課題解決力を養うため、地域貢献に汗を流す学生も多い。就職に強いのもその賜だろう。管理栄養士の国家試験



「『美』をキーワードに優れた人材と研究成果を社会に還元していきたい」と語る北尾悟学長

「美」キーワードに教育・研究

大阪樟蔭女子大③ 北尾悟学長に聞く

は4年連続全国トップの100%の合格率を誇り、小学校や幼稚園教諭をはじめ、教育業界にも毎年多くの学生を送り出している」

——大学スローガンが目指すものは

「樟蔭学園は創立以来、高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成を教育理念に掲げ、10万人を超える多彩な人材を輩出してきた。この伝統を引き継ぎ、『美』をキーワードに全学部学科で教育・研究を展開し、優れた人材と研究成果を社会に還元していきたい」

——具体的には

「『美』に関する研究機関を3年後をめどに設立し、外面美から内面美まで多様な美を軸に教育研究を展開したい。例えば化粧ファッション学科はがん患者に及ぼす化粧の心理的効果、人間がライフステージで美しく輝ける食事や栄養摂取方法などを探究する」

——どんな女子人材に期待するか

「人口減少社会が加速し女子大の必然性が問われているが、むしろこの状況を前向きにとらえたい。少子化や超高齢社会といった21世紀型の課題に対し、時代はキラリと光る女性の感性を求めている。どんな局面でも前向きにチャレンジできる人材を育てていきたい」

(今回は千里金蘭大学です)

